

第5回 橋本市立学校適正規模・適正配置検討委員会 会議録

日時 令和5年8月24日 18:45～20:30

場所 教育文化会館 3階 第1研修室

出席委員 : 添田委員、乾委員、東委員、戸島委員、北浦委員、藤田委員、松田委員、西田委員、
重入委員、宮地委員、廣岡委員、藪本委員、野上委員、今西委員、新田委員、片浦委員
奥出委員

欠席委員 : 佐藤委員、福井委員、大上委員

教育委員会 : 堀畑教育部長、阪口教育委員会参事、岡教育総務課長、中林教育総務課課長補佐、
大谷学校教育課長、岡村学校教育課指導係長、木下生涯学習課主幹、中岡生涯学習課課
長補佐、東教育総務課主査、中山

欠席 : 今田教育長

公開状況 : 公開

傍聴者 : 4名

《次第》

1. 開会

2. 調査・審議事項

(1) 基本方針見直し検討シートについて

テーマ3 適正規模・適正配置による学習指導上の効果と課題

テーマ5 適正規模・適正配置に関する実態把握

検討委員会の整理（第1回～第4回）

(2) 事務連絡

3. 閉会

	議 事
教育委員会	<p>本日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。</p> <p>ただいまから第5回橋本市立学校適正規模・適正配置検討委員会を開催いたします。本日もよろしく申し上げます。</p> <p>それでは委員長、進行をよろしく申し上げます。</p>
委員長	<p>では皆さんよろしく申し上げます。</p> <p>まずは、委員会の成立の確認と、傍聴人の確認です。</p> <p>事務局から報告をお願いします。</p>
教育委員会	<p>条例の第6条2項の規定によりまして20名の委員の中、17名の委員に出席をいただいております。</p> <p>過半数の委員の出席となり、この会が成立していることを報告いたします。</p> <p>また、傍聴者は4名です。報告は以上です。</p>
委員長	<p>傍聴の方が4名いらっしゃるということですが、公開の会議として進行させていただいてよろしいですか。(委員の了承をいただく)</p> <p>では議事に入りたいと思います。本日の調査・審議事項ですが、まず資料1の基本方針見直しシート(総括)をご覧ください。</p> <p>今回は「テーマ3適正規模・適正配置による学習指導上の効果と課題」として、小規模特認校についての説明と「テーマ5適正規模・適正配置に関する実態把握」として7月に実施しましたアンケートの集計ができ上がって参りましたので、その説明を受けて審議を進めていきたいと思っております。</p> <p>本日の委員会でも前回と同様に、できるだけ多くの方からご意見をいただきたいと思っておりますので、ご指名させていただいたりしますがよろしく申し上げます。</p> <p>それでは審議に入る前に資料の確認をお願いします。</p>
教育委員会	<p>資料の確認です。事前に送付させていただいたレジメと、資料の1、2、3、4になります。それから本日、机の上に置かせていただいた第4回の会議録とアンケート調査報告書の追加分を配付しています。</p> <p>もし何か不都合がございましたら事務局までお知らせください。</p> <p>資料の確認は以上です。</p>
委員長	<p>では、調査・審議事項に移ります。</p> <p>(1)基本方針見直し検討シートについて「テーマ3の適正規模・適正配置による学習指導上の効果と課題」として小規模特認校について、説明をお願いします。</p>
教育委員会	<p>テーマ3適正規模・適正配置による学習指導上の効果と課題、小規模特認校について説明させていただきます。</p> <p>小規模特認校とは、市町村が特定の小規模な学校を特認校として認定し、従来の通学区域を残したままで、市内のどこからでも保護者や児童生徒が希望する場合、特認校の就学を認める制度です。</p> <p>図に示しています、小規模特認校(A校)これはA小学校区を残し、市内全域から通学できるというような、こういった形のもの小規模特認校になります。</p>

続いて、すでに小規模特認校制度を導入している、和歌山市立加太小学校、加太中学校を視察した具体的な様子について説明いたします。

(1) 概要です、和歌山市立加太小・中学校は、令和4年度に小規模特認校制度を導入しました。募集人数は、加太小学校は各学年若干名、加太中学校は第1学年若干名です。各学年の上限を15名程度とし、特別支援学級の募集はありません。通学の条件は、保護者の責任において行うこととしています。原則として卒業する学年の終わりまで就学することとしています。ただし、小学校卒業後、県立中学校や私立中学校に進学する児童もいます。

特色としては、幼稚園、小学校、中学校が隣接する立地を生かした連携教育、地域に根ざした体験的な教育、少人数によるきめ細やかな指導、個別指導による基礎学力の充実が挙げられます。

写真は、紀の川の河口に位置する加太小学校と紀の川の源流である川上村の交流活動の一環である川上村合宿の様子と、加太の海岸での異学年による縦割り遊びの様子を示しています。

続いて、児童生徒の申請状況です。初年度の令和4年度の申請者は小学6年生1名、中学1年生8名、中学2年生6名、中学3年生2名の申請がありました。

令和5年度の申請者は、小学1年生3名、2年生2名、3年生1名、5年生1名の計7名です。中学校は1年生のみの募集ですので3名でした。小学校に比べ、中学校の申請者が多い傾向にあります。

続いて、先生方の声を紹介します。

①小規模特認校制度について、地域住民の理解をえられたことが大きい。以前から地域に根ざした体験的な教育活動を特色としており、学校教育活動に地域の理解は不可欠であるとおっしゃっていました。

②小規模特認校として「小規模」少人数教育の効果を考え、募集人数を15名程度としている。しかし、学校としては、偶数の16名の方がペア学習をしやすく良いのではないかと感じています。

③申請する児童は、不登校などの配慮を要する子供であることが多いのが現状です。小規模特認校に来たからといって不登校が解消されるわけではありません。また、転校しても不登校である場合は、以前の学校に比べ先生の家庭訪問の回数が少なくなったり、地域での同級生との関わりが少なくなってしまうたりします。そのような内容を、申請する保護者に対して事前に十分説明する必要があります。最後にまとめとしまして、小規模特認校制度の導入には、地域と学校に通われている保護者の理解が不可欠です。

2つ目、小規模特認校は、児童生徒が自分で通学することもあり、交通のアクセスの利便性が求められます。

3つ目、小規模特認校は、特に中学校での申請希望が多いのが現状です。要因としては、義務教育の最終段階であることも考えられます。

4つ目、小規模特認校の小学校、中学校の連携が大切であり、隣接していたり、施

	<p>設が一体型であることが望ましいと考えます。</p> <p>加太では、小学校児童の通学を同じ電車に乗る中学生の生徒が気にかけてくれる等の事例も聞かせていただきました。</p> <p>私からの報告は以上です。</p>
委員長	<p>ただいま小規模特認校という制度について、加太の事例を挙げてご説明いただきました。何かご質問ございますか。</p>
委員	<p>適正規模・適正配置による学習指導上の効果と課題の、この学習指導上というのは、どういう定義、どういう考え方で、効果と課題を図っているのでしょうか。</p> <p>もうひとつ、この特認校では学習指導上、どこが効果で課題なのか、教えていただきたいと思います。</p>
教育委員会	<p>学習指導上の効果と課題のというのは、説明から時間があきましたが、第2回検討委員会の資料でいったんお示しさせていただいたもので、一覧表で児童生徒数によってどういった効果と課題があるというようなものを整理しています。</p> <p>この整理に加え、小規模特認校では、さきほど説明させていただいたような状況が加太小・中学校ではありましたので、事例としてご紹介させていただきました。</p>
委員長	<p>この小規模特認校というのは、見ていただいてわかりますように、人数的に少し厳しいかなというような学校が取られるということなんです。</p> <p>統廃合をせずに、他から行ってもいいよっていう子供たちが来るということで、人数がその分増えるということと、自ら望んで行きたいと来られるということで、ある程度その保護者も納得した上で来ていただいて、これまでその地域がやってきた教育をそのまま引き継いでいっていけるということ。</p> <p>もともとある学校にとっては、少し人数が減ってきたのが補えるということ。</p> <p>また来られるお子さんからすると、小さな学校で地域に根づいた学校なので、のんびりと地域の人たちと一緒に活動したりと、大きな学校ではなかなかできないような活動ができるということで、それを望んでおられるという、来られる方にとってはメリットがあるということです。</p> <p>ただ、見ていただいたらわかりますように、小学校が少なくて中学校が多いということに関しては、お子さんが小学校からここの場合は別ですが、お子さんが中学校の場合は、少し小学校であまりうまくいかなかったかなとか、ちょっとしんどかったかなというお子さんが、どこかに変わりたいよといったときに、こういう特色のある学校に変わったらうまく学校に馴染めるかもということによって来られるケースも多いので、やはり中学校からの人数が多くなります。なので、わざわざその説明に不登校が減るわけではないということが書かれているのは、そういうことです。</p> <p>もちろん受け入れた学校の教職員も、非常に気をつけて個々の子供たちの背景をしっかり理解して対応するのですが、遠い距離のところから来られるので、校区内にある家庭よりは頻繁に先生と接触するということはなかなか難しかったり、通ってくるのに交通の便、公共交通がなかったら保護者が送ってこないといけなくなるので、そういった課題があるということです。</p>

	<p>小規模特認校を最近とられている学校が和歌山市にもあり、小さな学校規模になってきた時にどうするかという1つの選択肢としてありますよということです。また、メリットとデメリットはありますよということをお知らせするということができた。ご理解いただけましたでしょうか。</p>
委員	<p>統廃合以外にこういう小規模特認校という1つのパターンがあるよという話を今、委員長から聞かせていただいたんですが、そういうパターンがあるというのは、わかるんですが、この加太小学校・中学校が、統廃合をせずにこのようにしたという背景というか何か住民の人、あるいは、各学校の先生方のご意見として、特認校というようなことが承認されてこの制度を導入されたのか、どうなってなのかは、これではちょっとわからないので、そこを聞かせていただければと思います。</p>
教育委員会	<p>これはあくまで和歌山市が決められたことですので、本市として何かそれに対してこういう理由だという断言した言い方はできないんですが、これまでこの検討委員会の中でいろいろ資料も見ていただき、意見もいただいている中で、資料6ページに書かれている令和3年度の加太小学校・中学校の児童生徒数を見ていただきますと、小学校の場合は53名、さらに複式学級が1つあります。</p> <p>中学校においては24名ということで、非常に少ない児童生徒数の中で果たして教育環境がこのままで良いのか、というような議論が和歌山市でもされたのではないかなと思います。</p> <p>そういう中で、先ほど委員長が言われたような解決策の1つとして、統廃合ではなしに小規模特認校として残す、という選択を和歌山市はされたのではないかなと、あくまでも断言はできませんが、そういうことは考えられるのかなということで、ご理解いただけたらと思います。</p>
委員	<p>橋本市にはこの特認校がないということで前回ご説明をいただいたと思うんですが、では現状として橋本市で中学校へ進学するっていう子供たちは、私立を除けば自分が住んでいる校区内にある中学校に絶対行くという子供たちばかりでいいのかなと。</p> <p>やっぱり不登校って何か問題があるから、人数が少ない方が私はいいいのかなという子供さんがおられたとしても、もうそこに行かないといけないのかなというところと、例えば、橋本市だったら九度山の中学校に、ということもないのかなっていうのがちょっと疑問に思いました。</p>
教育委員会	<p>基本的には、お住まいの地域で就学するということになっておりますので、自分の地域にある中学校へ進まれるようになっていきます。</p>
委員長	<p>弾力的にそこは考えるということにもなっているので、特別に事情がおりということであって、例えば、地理的な問題で保護者が家はここにあるけれど、昼間は全然違うところで商売されていて、ずっとそこにいらっしゃるので、家に帰っても保護者はいないからこちらの違う学校の方がいいという場合、あるいは、ちょっとしんどくて違う環境に変わりたいよということで、違う学校にということでの就学を認めるということは制度としてはあります。</p>

	ただ基本は校区の学校に行くということですが、今はそういう意味では弾力的に中学校を変更することも可能です。
委員	私の知り合いの話なんですけれども、中学校で部活をやりたいので、強いところに行きたいってことで住所を移して、中学校進学されたっていう方もいらっしゃいました。
委員長	それは本当に、学校側からするとちょっとなんですけど、どこの市や町でもいらっしゃるにはいらっしゃいます。 大きな町であったとしてもそういうのはありますが、実はそれは、今言いましたように弾力的なっていうところの理由には入らないので、そのままの住所では就学できないから、住所だけ移してっていうことをされていると思います。
委員	先ほど私、冒頭に質問をしたのは、統廃合やろうということで進んでいった結果、統廃合ができないというところの逃げ道として、こういう考え方もありますよということで、今後進めていくにあたって、これも頭に入れて進めていただきたいなということで、出してこられたのかなと思って冒頭質問したんです。 そうではなかったということで、そしたら一体これは何なのかというふうに思ったんです。そこら辺はいかがなものでしょうか。
委員長	私のほうから答えさせていただくと、反対があったとかっていうことよりも、加太の方は地理的な問題もあって人数が少ないので特認校にしましょうと、そしたら人数が集まってくると、それでどこまで持ちこたえられるのかって言うことだと思うんですね。 これでたくさん来ればこのまま持ちこたえられますけど、子供が外から来ても地域の子供がどんどん減れば持ちこたえられなくなります。 またそうなっていったらどこかと統合しないといけないなんだったら、何段階もステップ置かずに統合したらいいじゃないとか、距離的な問題とか、経緯とかで最初からしたらいいじゃないかと考えるか、こういう段階踏んでやっていこうというふうに考えるか。 加太も実際、子供の数がこれから増えていくかっていうと、なかなか望めてないところもあるので、今、外から何人入れているという制限かけていますけど、そのうち加太の子供がどんどん減ってしまって、外からの子ばかりみたいになってしまうと今度は学校としてその校区にある意味合いが見えにくくなってきます。そういうことも今後、起こり得るかもしれない。 これで何もかも解決するわけではないけれど、こういうふうに学校を地域の真ん中に置いて支えていくことで地域の子供も増える可能性も出てくるかもしれないというようなところの一つのステップではあるとは思っています。 ただ、なかなか小規模特認が必ずしもすべての地域で成功しているわけではありません。
委員	この中学校、将来的にはどうかと思うんですけども、今、義務教育なので小・中学校は、そこの地域の学校へ行かなあかんということで、高校は今までやってら、こ

	<p>こらの子は笠田高校ぐらいまでしか行かなかったけど、今全県区行けるようになってますね。</p> <p>そういうことは、小学校・中学校でも特徴の活かした学校づくりとか、この子はスポーツ好きで、今さっき言われたようにスポーツでどこか行くとか、そういう、特徴のある小学校・中学校ができてもいいんじゃないかなと、そういう考えはいかがなものでしょうか。</p>
<p>委員長</p>	<p>おっしゃる考えはございます。</p> <p>実際に1990年代から東京都のいくつかの区で学校選択ということで、もちろん定員の上限はあるんですが、区の中にある学校どこに行ってもいいです選んでくださいと言って、小学校も中学校も選ぶということをやったことがあります。</p> <p>でも、なかなかその制度があまり画期的に何かが変わるかという、おっしゃったようにすごく学校ごとに特徴があれば選びやすいっていうんですけど、日本の場合、隣の学校と何が違うかといったらカリキュラムも一緒なんとも一緒の中で、じゃあ何をもとに選ぶのかっていうところがなかなか難しく、もともとあった校区の学校を選択することになり、そういうスクールチョイスというやり方がいったん広がったんですがもう一つ広がりには欠けたということがあります。</p> <p>それでそのスクールチョイスをやると選んだところに行けない場合、例えば30人しか集まらない学校と150人も集まってしまった学校ができたときに、その教室とかで今年の1年は30人、去年、来年の人数は20人とか言われたら、増えたり減ったりしたら教室の当てができないので、行政上非常に対応が難しいということもあります。</p> <p>先生の配置とかも、たびたび変えないといけないわけですので、そういった課題が多かったということです。方法の一つとしてはありえる方法です。</p>
<p>委員</p>	<p>私、家内が加太なんで、しょっちゅう加太へ行ってます。</p> <p>加太小・中学校の特徴ってことは、同一敷地内にある、そういう小・中学校です。</p> <p>もう一つは、児童生徒数が激減してたと、加太はもう少子高齢化がひどいです。</p> <p>だから今、町全体で町おこしの活動がすごく熱心にやられてます。町の活気が出てきたような気がします。</p> <p>その中で、地域あるいは保護者の方が、学校からも新しい流れっていうのを作ってほしいというのが基本にあったと思います。</p> <p>もう一つは、小学校と中学校が同一敷地内にある。だから小学校と中学校の連携ってしやすい、もっと活発にできるような環境づくりに取り組んでみよう。そういうことが前提にあって、一番大事なことは加太小・中学校にとって児童生徒数の確保、その手だてとして小規模特認校を取り上げたと思います。</p> <p>これ、たくさん児童生徒が集まったと僕は思ってます。一つのいい手法だなと思います。そして、その子らが来た不登校であるとか、学力的にしんどい子もいる、小規模特認校にして児童生徒を増やしたんやったら、来てくれる子供たちに対する新たな教育、課題それをやっぱりしっかりとらえて、その課題を解決していく手法を</p>

	<p>学校教育の中に取り入れるっていう。</p> <p>だから、小規模特認校にする次の課題と姿勢、来てくれた子供、課題がある子供、その子供たちをどういう教育で伸ばしていくんか、そのことを考えて小規模特認校の決定ってやっていったらいいと思います。</p> <p>まず一つ的前提が、児童生徒数が減ってきた、この学校を残したい、そのためには子供を増やしたい、小規模特認校にして魅力ある学校を伝えていく、この学校こんなに魅力ありますよ、あなたの子供も伸びますよと。</p> <p>そういう、いわゆるコマーシャルっていうか広報をやっていったら、その学校ころっと変わる、教育内容をころっと変わる、そういう学校をつくれるっていう前提で、小規模特認校の決定っていうのを、教育委員会で考えていかれたらいいんだろうなと、私は皆さんのご意見聞きながら考えていました。</p>
委員長	他に何かございませんか。
委員	<p>加太小学校・中学校の例を出していただけてますが、近隣でも、今言ってくれている小規模特認校っていうのは、論議になったことは、地元市内の学校でもあるいは近隣の市町村の学校でもあるんです。</p> <p>橋本市内、高野口で言うと信太小学校がありました。その特認校という話が出たということは、聞かせてもらっていたんですが、結果的には地元の方々が、その制度、適用を好ましく思わないというのか、それが消えたっていうのは聞かせてもらってます。真偽はわからないんですけども。</p> <p>それで、この制度を活かしてうまくいってる例としたら、隣の九度山町の河根小学校・中学校が近隣にあって、こちら橋本市内からも随分受け入れてもらって、すばらしい教育をされているのは聞いております。だからその特認校っていうのは、なかなか難しいっていうのは、思っていたんですが、第1回に最後の方で言いましたが、要は適正規模・適正配置の検討委員会なんで、児童生徒の数、増減というのもさることながら、統廃合で一発で行くんじゃなくて、それまでにいろいろ、例えば、和歌山市で言うたら今言ってくれた、加太小学校・中学校の例もあるんですが、小中一貫の伏虎義務教育学校なんていうのが立ち上がっているんで、小中一貫校っていうのも考えられるわけやし、それから、それ以外で、校区的に見直してっていうのも考えられる。この検討委員会は、意見をいろいろ言えるっていう会議だと思うので、各委員から言ってもらって、最終的には委員会なり教育委員会制度があるんで、あるいは議会があるんでそこで決めていただけたらいい。</p> <p>意見は聞いていただいて、参考にさせていただく会にさせていただきたい。</p>
委員長	<p>他は何かございますか。よろしいでしょうか。</p> <p>一つのやり方として、小規模特認校というものを今日紹介させていただいたんですが、こういう場合は、適正規模・適正配置として考えたほうがいいのかという教育状況、条件ありますよね。私の意見ですが、それがちょっと条件として引っかかっているよ、ちょっと危なくなっているよっていう学校が今はコミュニティスクールに</p>

	<p>なっているわけですから、そこに持ち帰ってよく考えていただく、どの方法を取るにしてもそんなにハードルが低いものじゃないので。</p> <p>義務教育学校も、外では義務教育学校すごいみたいな話なっていますが、なんかものすごい大騒ぎになっています。自分の学校、自分たちの学校がどの手法を取るのかということをお自分たちが考えて、その時のメリット・デメリット、何を我慢しないといけないのかっていうところ、統廃合するのは何を我慢しないといけないのか、義務教育学校になったら何を我慢しないといけないのか、この特認校になったら何を我慢しないといけないのかって言うところの目で、メリットの部分もよく話し合っていて次はどうするか。</p> <p>問題をどうするかを何も考えずに、今の状態をただただ見ているっていうのでは、子供のためには良くないと思うので、何らかちょっと課題になっているよっていう条件を解決する方法を考えていただくと。</p> <p>だからここでは、いろいろな条件、例えば距離の問題であるとか人数の問題であるとか、立地の問題であるとか、いろいろな条件を言っていてということをお、まとめさせていただくというふうには思っています。</p> <p>ですので、距離の問題っていうのも、なるべくどれぐらいの距離から近い方がいいとか、これを超えたらバスとかでやってもらわないとちょっと困るんだとか、そういうことをご意見として出していただいて、それで、じゃあうちの学校はどうなのかっていう、自分の学校振り返っていただく。そのために手法がいろいろあるので。昔、特認校ができた時ほど、最近はあんまり抵抗も少なくなっています。</p> <p>逆に小中一貫っていうのは、いつか流行りましたけど、ちょっと後ろ向きに、橋本市も小中一貫っていう話もちらほら出たみたいですけど、やっぱりなかなか難しいっていうことにもなったりしているんで、その時々で注目されているものが違います。</p> <p>教育委員会、事務局は、皆さんがあんまりご存知ないかもしれない制度について、いろいろ情報を提供しようと言ったわけで、これをしましよって言うてるわけではないので、こういう選択肢もありますよという情報ということでご理解いただいて、わからないことがあればまたご指導いただいて。</p> <p>事務局の方も調べてくださると思います。</p> <p>ではこの特認校についてのお話というのは、ここまでにさせていただきます。</p> <p>実は、ご協力いただいておりますアンケート調査の集計が上がってきております。小学校に入学しているお子さんがいらっしゃる保護者でもある委員にも、アンケートにお答えいただいたと思います。</p> <p>質問については以前ここでもお示ししてお話を伺っておりますが、簡単に感想を仰っていただければいいかなと思うんです。実際にアンケート答えていただいた方にお願ひできるでしょうか。</p>
委員	<p>私は子供が中学生で、アンケートさせてもらったんですが、この会議に出ているからわかるんですけど、アンケートを持って帰ってきたときに、何かいつもの学校か</p>

	<p>らもらうアンケートと同じ感じがして、ただ答えないとあかんという。</p> <p>私はこの会議に出て理解して、橋本市がこういうことをしているっていうのを理解して回答したんですけど、せつかくのアンケートなのに、ただ何か書けばいい、何かこうやなあって感じで回答してる人がいないかなっていうのがすごく残念かなって思ったんです。</p> <p>職場でも、中学生とか小学生とかがいる同僚がいるんですけど、その中でもこのアンケートについて何も話題にならなかったんです。</p> <p>なので、保護者としても、あんまりこんなこと言ったら駄目なんですけど、ただのアンケートでこの結果が出ていると思うんです。なんて言っているのか、そこからこういう感じに私は受け取ってしまってます。</p>
委員	<p>私も3人のうち、長女が今年3年生で小学校へ行っているんですけど、私もこの会議に出ているので話は解ったんですが、やっぱり私の職場でも同じように小学生の保護者がいるんですけど、私が行ってるということを知っているんで、このアンケート来たけどこれどういうことなんって言ってる、解説を求められるような状況になってました。</p> <p>なので、本当に検討委員会でほしい情報が集計できているのかなっていうのは正直不安なところでした。</p>
委員長	<p>ということで、保護者の方がどれくらい高くアンテナを張って、回答いただけたのかなというところがですけど、まず簡単に集計の方を報告していただきましょうか。いいですか。</p>
教育委員会	<p>それでは集計の報告をさせていただきます。</p> <p>事前にお配りした資料3、13ページです。あと、本日、追加で配らせていただいた資料も途中でご覧いただく予定です。</p> <p>まず、基本的事項の確認からですが、調査の対象者は、橋本市立の小中学校に通う子供を持つ保護者におこなっています。</p> <p>また、実施期間は7月6日から13日に行っており、今回学校にアンケートの配布と回収をご協力いただいています。</p> <p>配布数及び回答数の結果は記載のとおりですが、回答率は小中学校全体で66.2%でした。また留意事項です。</p> <p>集計として1つ目ですが、比率は%で表示していますが、小数点以下四捨五入していますので、四捨五入の関係で、合計がきちり100%とならない場合があります。また、2つ目として、各比率は回答者数に対する比率を算定しています。</p> <p>例えば、100人の回答のうち30人の方が選択していれば、30%の比率という計算になります。このため、問3の複数の選択肢を選ぶことができる設問では、比率の合計は100%を超えることになります。</p> <p>基本的な事項は以上ですが、各設問について、小学校・中学校それぞれご説明させていただきます。</p> <p>次の14ページご覧ください。まず小学校についての結果です。</p>

問1について、小学校での回答数は全部で1,298人でした。回答率は65.5%ですが、学年ごとの回答数は下のグラフのとおりです。

次の15ページの問2「学校教育で最も重視して欲しい項目」です。

下のグラフは、小学校全体についての各設問の選択比率についてグラフ化していません。左から2番目「児童生徒一人ひとりの状況が十分に把握され、きめ細やかな指導が行われること」が53%と最も割合が高くなりました。

次は「児童生徒が多様な考えに触れ、切磋琢磨し資質や能力がさらに伸びること」こちら39%となっており、2つの選択肢の割合が高く、他の選択肢の割合は少ない結果となりました。

また、クラス数に応じた学校規模の分類を行い、学校規模ごとの選択比率の表にまとめています。学校規模の分類は、第2回の資料5でお配りした「適正規模・適正配置による学習指導上の成果と課題」での分類と合わせ、複式学級「複式の学校がある学校」、単学級「単学級のみのある学校」小学校でいうと6クラスになります。複数学級「7クラス以上で複数学級がある学校」としてしています。

表について上から順に小学校の全体、そして内訳の「複式学級」「単学級」「複数学級」の選択比率を表しています。各設問、学校規模別に選択比率を見ていただくと大きな差はありませんでした。

続いて16ページ、17ページです。

問3の適正規模・適正配置に関して「児童が通っている学校に改善して欲しい項目」についてお伺いしています。

選択は最大3つとしていきますので、合計は100%になりません。

右側の17ページには、問2と同じく小学校全体のグラフと、小学校全体と各学校規模別の選択比率を表しています。

まず小学校全体のグラフを見ていただくと、右から2番目「特になし」が60%と割合が最も高く、続いて高い順に真ん中の「クラス替えができず、人間関係が固定化していること」が20%、次に最も左「クラス数が少なく、クラス同士が切磋琢磨することができないこと」が16%です。

続いて、左から3番目「グループ学習でグループ数が少なく、多様な意見に触れにくいこと」が7%となっております。

このため、小学校全体では、6割の保護者が「特になし」を選択しつつも「人間関係の固定化やクラス同士の切磋琢磨について」は一定程度「改善してほしい」という声があり、そのための対応についても検討していく必要があると考えています。

また、「特になし」の選択肢についてですが、その他の選択肢と「特になし」を同時に選択することができるので、そういった選択をしていらっしゃる方がおられたり、「分からない」という意味で選択されたのではないだろうかと推測される、これは自由記載の内容からそういった推測ができるなというような選択がありました。なので、この表現の影響で「特になし」を選択された方すべてが、第3回のアンケート案で「課題がない」としていた解釈はできないと考えられる結果になって

います。

次に、学校規模別にみていきます。

学校規模別のグラフをつけている、本日追加配布させていただいた資料、2枚めくっていただいた44ページをご覧ください。

こちらは学校規模別のグラフになっており、まず複式学級がある学校について同じ設問の選択割合になります。全体では最も高かった「特になし」を抜いて「クラス替えができず、人間関係が固定化していること」40%となっています。また「クラス数が少なく、クラス同士が切磋琢磨することができないこと」が24%、「グループ学習でグループ数が少なく、多様な意見に触れにくいこと」が24%と、全体よりも改善してほしいという割合が高くなりました。

また、次のページは単学級の学校ですが、こちらも全体では最も高かった「特になし」を抜いて「クラス替えができず、人間関係が固定化していること」が52%となっています。また「クラス数が少なく、クラス同士が切磋琢磨することができないこと」が29%、「グループ学習でグループ数が少なく、多様な意見に触れにくいこと」が16%と、改善してほしいという割合が高くなっています。

次のページは複数学級の学校ですが、複式学級や単学級の学校よりは、改善してほしいという割合は低くなっていますが、一定程度改善してほしいという声が見られるところです。

次に、元の資料の続き、18ページをご覧ください。

問4では「統廃合で特に配慮すべき点」についてお伺いをしています。

全体では69%と「児童生徒の通学条件（距離・時間・方法）と安全性の確保」が圧倒的に高い割合となり、続いて「統合後の新しい人間関係の不安の解消」が15%と2番目に高い割合となっています。

また「統合後の新しい人間関係の不安の解消」では、複式学級が29%と他よりも高く、そういった不安が高いというところが見受けられます。

続いて19ページ中学校の結果です。

まず問1は、中学校での回答数は789人で、回答率は67.2%となっています。

学年は下のグラフのとおりです。

次の20ページです。問2「学校教育で最も重視してほしい項目」ですが、小学校とあまり変わらず、左から2番目の「児童生徒一人ひとりの状況が十分に把握され、きめ細やかな指導が行われること」が50%と最も割合が高く、次に43%の「児童生徒が多様な考えに触れ、切磋琢磨し、資質や能力がさらに伸びること」の順となっています。

次の21ページ、問3の「通っている学校に改善してほしい項目」についてです。

22ページのグラフをご覧ください。最も割合が高いのは、右から2番目の47%の「特になし」ということで小学校と同じにはなりますが、若干小学校よりも割合は低くなっています。また、小学校にはなかった部活動の項目になりますが、真ん中の「生徒数が少なく、部活動の種類が限定され、希望する活動が選択肢にないこ

	<p>と」が2番目に高い23%となっています。続いて「人間関係が固定化していること」が18%、右から3番目の「同学年の結びつきが中心となり、異学年交流の機会が少ないこと」が13%の順になっています。</p> <p>小学校よりも「特になし」の割合が下がっており、改善してほしいという声も一定程度みられ、対応策について必要に応じて検討していく必要はあると考えています。</p> <p>次に23ページ問4の「統廃合で特に配慮すべき点について」ですが、こちらは小学校と同様「児童生徒の通学条件と、安全の確保」が66%と最も高い割合となっており、続いて「統合後の新しい人間関係の不安の解消」が14%となっています。また「学校施設の老朽化対策」9%については、小学校が4%と比較すると少し高い割合となり、学校の老朽化が意見として出ているのかなというところです。</p> <p>最後に、27ページの自由記載の内容をご覧ください。</p> <p>こちらの表は、各問について、自由記載に書いていただいた内容を、AからGの7つに分類し整理しています。内容が同じものを複数の方が書いてある場合は、表のなかでは1つの意見として紹介しています。</p> <p>また、各問に関連しない内容であったり、特定の人物を批判する内容というのも一部見られたんですが、そういった内容は、整理のためにこちらの資料からは外しています。アンケート結果の説明は以上です。</p>
委員長	<p>先ほどは、実際に保護者としてお答えいただいた委員の方より、皆さんちゃんと答えられているかなということでしたが、今見ていただいたように結果が出ております。</p> <p>ご覧になって何かご質問とかご意見とかありませんか。</p>
委員	<p>このアンケートを実施した結果、どんなことが得られたかというか、総括みたいなものをお伺いしたいんですけども。</p> <p>想定されていない結果とかが得られたとか、そういった内容でお願いいたします。</p>
教育委員会	<p>検討委員会で実施されたアンケートなので、事務局としてのあくまで感想ということでお伝えさせていただきます。問2の「最も重視してほしい項目」で言いますと、ある程度予想された傾向があるのかなと思いつつも、低かった項目については、教育委員会としても力を入れている、地域と学校の連携であったり、学校の複合化は事例は少ないですけども、いろんな経験を積んでいただくという、そういった今後の方針、現在検討している中ですね、そういったところがかなり低かったなと感じています。</p> <p>あと、問3の「学校に改善してほしい項目」ですけども、こちらは学校規模別で想定よりも大きな差が出ているのではないかと、というようには感じています。</p> <p>問4の「配慮すべきと思われる点、統廃合に関して配慮していただきたい点」というものは、通学条件ということである程度予想通りというか、通学の安全を確保してもらえ、子供は学校で楽しく生活してもらえれば、というようなところのかなと思っております。</p>

委員長	よろしいですか。
委員	この結果を受けて、何かアクションに繋がっていくみたいなことはあるんでしょうか。例えば、先ほどおっしゃっていただいた児童生徒の通学条件と安全の確保のパーセントが高いというところで、もう少し力を入れていくとか。いかがでしょうか。
教育委員会	具体的な対応策は、現段階では何も決まっていなくてという状況ではありますけれど、今後、統合等を進めることになっていく場合には、こちらのアンケート結果を十分に配慮したいなというように考えております。
委員長	何かご質問ありますか。 感想でも結構です。
委員	アンケート見させていただいて、設問2ですね「学校教育で最も重視してほしい項目」のところでは「児童生徒一人ひとりにきめ細やかな指導が行われること」というところが一番高くなっているの、自分の子供は、まだ小学校に就学してないのですが、保護者目線からすれば、やっぱり学校の規模っていうよりかは、一人ひとり自分の我が子が、きちんと丁寧に指導が行われるっていうところが一番重視されているし、やっぱり多くの方がそういうふうに使われているんだなって思ったことが1点。 もう1点は、問3のところ、課題を改善してほしいところと言えば、やっぱりクラス替えができないであったり、あとクラスの児童生徒同士が切磋琢磨が少ないとか、そういう人数が少なくなってきたところへの課題を感じておられる方が多いですし、特に複式学級の学校、また単学級の学校の保護者の方が、やっぱりその割合が高くなっているところを見ると、仮に将来的に統廃合とかっていうことがあったとしても、そこに対する保護者の抵抗は少ないんじゃないかなって個人的には思いました。
委員長	他に、結果について何か質問、あるいはご意見ありますか。
委員	感想を言わせていただきますと、学校に改善してほしい項目のところ、小中学校ともに35人40人の学級は多いけれど、クラスの人数が少なすぎるのも良くないっていう意見がどっちも上がっているの、やはり多すぎず少なすぎずがちょうどいい。ちょうどいいクラスの人数で、きめ細やかな指導が受けられるのが、保護者の方としての望みなのかなっていうように受けました。
委員長	自由記載のところに、今、委員が仰ってくださったことは書かれているんですけど、2クラスで各クラスが20人程度がいい。 どこでお伺いしても大体こういう意見が多くて、30人を超えるとちょっと多いと、でも1クラスでは困るので20人台で2クラスあったら保護者はいいなあ、という意見がよく出てきております。 他にも何名かいらっしまったので、多分素直なご意見だと思います。

	<p>ということでアンケートの報告をさせていただいたんですが、何かご質問ご意見ございましたら。</p> <p>特にないということであれば、今ご説明ありましたように、学校規模によつての差つていうのが、やはりある程度は出てきているということで、皆さんしっかり書いていただいたんだと思います。</p> <p>何かご意見、ご質問ありますか。大丈夫でしょうか。</p>
委員	<p>この回答率66.2%というのは、事務局的には多いなとか、これぐらいだろうなとか、ちょっと意外に少なかったなつていうどういう感想を持たれたのかというのと、私もママ友にアンケートどうだったって聞いたら、出し忘れていたら、担任の先生からアンケート出してくださいってちゃんとフォローの電話があったと。</p> <p>だから、先生にもよるなというのは、すごくこのアンケートとか学校全体ですけども思います。お願いします。</p>
委員長	<p>アンケートの回収率について、今回の回収率というのは大体こんなもんだろうというところでしょうか、というご質問ですけど。</p>
教育委員会	<p>いろんな方法で、他市さんでもアンケートを実施してまして、例えばウェブでやると40%ぐらいの回答しかないところであったり、逆に紙で実施すると80何%の自治体さんもあります。</p> <p>また、小さい学校で言うと回答率が高い傾向があるというふうに他市の担当者からは聞いているので、小さい学校が多ければ回答の割合は高くなる傾向があるんじゃないかというふうには思っています。</p> <p>事務局としては、少しでも高い回答率を目指しました結果、一定の傾向を掴むための回答率は得られているという評価です。</p>
委員長	<p>ということですよ。他いかがでしょうか。</p> <p>学校にも大変ご協力いただいたアンケート結果、今後いろんなことを検証するのに使っていきたいと思います。</p> <p>では、次に第1回から第4回までの検討委員会での調査・審議事項について整理を行いたいと思います。</p> <p>資料4基本方針見直し検討シート(個表)について事務局より説明をお願いします。</p>
教育委員会	<p>第1回から4回までの検討委員会の整理ということで、本日の小規模特認校の内容であったり、アンケートの結果をもちまして、事務局から説明させていただきたい内容は終了いたします。5月23日の第1回に始まり、本検討委員会も本日第5回となりまして、各委員の貴重なお時間をいただき多くの資料を見ていただきご意見をいただいてきたところです。</p> <p>これからは検討委員会から教育委員会へ答申を行うため、皆様のご意見を取りまとめしていくこととなります。その前段階といたしまして、第1回から前回の第4回までの検討委員会の内容を整理していただくのに、資料4として28ページから、基本方針の見直し検討シート(個表)をお配りしています。</p> <p>それぞれテーマごとA3の用紙になっていますので、全体像はこの会議の最初に見</p>

ていただいた、資料1の見直し検討シート（総括編）となっていますので、必要に応じてあわせてご覧ください。

検討シートの見方をご説明させていただきます。

資料28ページをご覧ください。まず、左上の検討項目からです。

こちらには、これまでもお伝えしてきたとおり、AからDに大きく検討項目を4つに分類してきた分類を記載しております。検討項目を見ていただくと、例えば28ページのシートでは「人口動態、児童生徒数の変化」のなかの「1市の人口・児童生徒数」に関するシートであることがわかるようになっています。

続いて、右隣の審議状況です。検討委員会で調査審議がなされたかどうかを記入しており、ほぼすべてのページで「審議中」となっています。

これは、これまでの検討委員会で調査審議いただいたことを表しています。

ただ1点、34ページの「教育条件の改善 4改善策」の項目のみ「-」ということで記載しています。こちらについては、最終的にいただいた答申を元に、教育委員会で作成を行う部分になるため、この検討委員会での調査審議は行わないということを表しています。

次に審議状況の右隣、2つの項目についてです。

こちらは、現在の「橋本市小中学校適正規模・適正配置基本方針」や文部科学省の「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引き」において、各検討項目がどのように書かれているか整理したものととなります。

続いて下段に移ります。

こちらは調査審議事項です。まず、上段の検討項目を再掲しています。

次に検討テーマ、そして、これまでの検討委員会のどの回にどの資料を配布しているかを記載しています。また、資料について、一部分が特定のページのみ該当する場合もあるため、その場合は該当ページ数を「P〇～P〇」といった記載をしています。

そして、隣の「検討委員会の議論」です。こちらには、各委員からの意見と事務局の応答を記載しています。各委員からの意見を記載しその下に、⇒をつけて記載した内容が事務局の応答としています。

最後に、右端「まとめ」ですが、これから検討委員会としてのご意見なりをまとめていくことを予定していますので、現在は空白となっています。

以上、表の見方を説明させていただきました。

各ページの議論の内容であったり、事務局の応答などについては、第6回次回までにご覧いただければと思います。必要に応じて、これまでお配りした資料と検討シートを行ったり来たりすることもあるでしょうけれども、基本的にはこの検討シートを資料としながら、最初にお伝えしたとおり、検討委員会から教育委員会へ答申として、次回から皆様のご意見を取りまとめていければと思っています。

なお、現在ご覧いただいている検討シートは第4回までをまとめたものですので、本日の検討委員会の内容も追加した検討シートを、次回資料として皆様に送付させ

	<p>ていただく予定ですので、第6回までに内容確認をお願いできればと思います。</p>
委員長	<p>今説明があったこの検討シートというものが、どういう構成要素でできているのかというのと、見方で、今から「まとめ」というところをまとめていくということです。これまで事務局から説明があった、それについて皆さんが質問されたり、意見を言われたりしたことがありました。</p> <p>今後は、この「まとめ」というところをまとめていきますということなので、本日の分も含めて次回までご覧いただいて、ゆっくりお考えいただくということで、内容について今日ここでということではございません。見方についてということです。一応この検討委員会の方で答申を作るとして、提出するという事なんですけれども、提出するのが、一応今のところ11月15日を予定しています。</p> <p>それが第9回の検討委員会になります。今日が第5回ということですので、6、7、8、9ですけど9回は提出するとしたら、6、7、8で8回には提出するものを、ほぼまとめたものを皆さんに見ていただき、最終チェックしていくということで、9回でこれよろしいですかということになります。</p> <p>この後、第6回7回あたりでこの「まとめ」というところをまとめていくことになるのですが、なかなかこの人数でお話していると、意見を1人ずつ言っていただいたら時間が終わるみたいなこともありますので、私の方からちょっと方法を考えておいてくださいとお願いしていました。</p> <p>その方法を事務局から説明をお願いいたします。</p>
教育委員会	<p>それでは、プリントを配布させていただきたいと思います。</p> <p>先ほど委員長が申しあげましたように、第5回本日までの検討委員会は、事務局の説明が中心でした。これから第6回からは、答申に向けてこれまでの委員会の内容をまとめていく必要があります。</p> <p>そこで、ご提案ですが、先ほどお配りさせていただいた個表、それから今、お配りさせていただいた資料を見ていただきたいと思います。グループ討議というのをご提案させていただきたいと考えています。</p> <p>グループについては3班とし、第6回委員会については、約1時間から1時間半程度のワークショップ形式でおこなって行きたいと考えています。各班には進行役としてファシリテーターとアドバイザーを配置していきたいと。このファシリテーターとアドバイザーには、教育委員会の職員を各班に就かせていただきたいと思います。</p> <p>ただ、先ほどからのテーマは、多岐に渡っていますので、ある程度テーマを限定して意見を出していただければということで、例として、今資料をお配りさせていただいた形で、テーマ、検討項目Bの「教育条件の改善」の中の1. 基本的な考え及び学校小規模化の影響、3. 学校の適正配置。</p> <p>それから、検討項目Cの「防犯・防災対策 学校施設の改修」の中の1. 防犯対策、2. 交通安全対策。</p> <p>ということで、いったんテーマを絞り込んでいるのですが、最終的に各班の中で、</p>

	<p>やはりこのテーマもということが出てくれば、これだけにこだわる必要はないのかなと思っています。</p> <p>一緒にお配りさせていただいたA3の資料は、各委員の皆様が、これを参考に予習というような形にはなるのですが、そのまとめ欄にグループ討議を進めるにあたって、これまでと本日お配りさせていただいた資料を見ながら、委員の皆様のお考えであったり、感想等を書き込んでいただければ、第6回の委員会ではスムーズに進むのではないかなと考えており、お配りをさせていただきました。</p> <p>このような形で、グループ討議を提案させていただきたいと思います。</p> <p>また班分けにつきましては、委員長、副委員長には、各班を回っていただいて、グループ討議の様子を見ていただくような形を考えており、残る18名の委員の皆様を3班に分けていきたいと思っています。</p> <p>それぞれ保護者の皆様、地域の皆様、教育関係者の皆様、また学生さん、それから校長先生がおられますので、ある程度バランスよく班分けをさせていただけたらと思っていますので、よろしくご審議のほどお願いいたします。</p>
委員長	<p>第6回については、グループ学習形態がありますので、グループごと皆さんが考えてこられた意見を出していただいて、それを各グループでまとめていただくという形で、全体で各グループでどんな意見が出たかということを集めてというやり方をしたいということですが、いかがでしょうか。</p> <p>ちょっとこれだけの18人でやっているのと、やっぱり1人1回ぐらいしかお話しいただけないので、人数が6人になれば3倍4倍お話していただけたと思います。</p> <p>何かご意見ありますか。いいでしょうか。</p> <p>では、そういうやり方でやらせていただきたいということで、6回については大変お忙しいところお手数でございますが、グループ討議用のシートがありますので、簡単で結構ですので、お考えを書いてきていただく方が、お話がスムーズに進むかと思っておりますので、すいませんがよろしくお願いいたします。</p> <p>その際には、先ほどお配りした基本方針見直し検討シートの今日の部分もまたお送りしますので、それも参考に、これまでご発言いただいた意見も書いていただいて結構ですので、お考えを書いてみていただくと、ご協力のほどお願いいたします。</p> <p>では、今日ご用意させていただいていたものは以上ですが、全体として何かご質問ご意見ありますか。大丈夫でしょうか。</p>
委員	<p>これ第6回次回が、検討項目B及びC、この二つに絞ったということですね。</p> <p>第7回は、Dの地域コミュニティ関係は、また検討項目として入ってくるのでしょうか。そこはどうなっていますか。</p>
委員長	<p>すいません、事務局はどういうお考えですか。</p>
教育委員会	<p>今、全体9回を考えておりました、先ほど申し上げましたように絞り込みをさせていただいたんですが、この項目以外のことについてもご意見をいただける場合は、</p>

	<p>参考とさせていただきます。</p> <p>第7回以降に次のグループ討議で違うテーマでというのは、日程の関係上、考えておりません。第7回からは、ある程度まとめを見ていただいて、委員の皆さんから意見をいただくような形で、そして第8回については、答申案というのも見えていただくような形になってくるのかなと考えております。</p>
委員長	<p>次回の第6回で、このテーマを出していますが、それ以外のところでもご意見があれば、これについてはこういう意見がありますということで、委員の方から出していただくのは結構です。</p> <p>ただ、前もって書いてきていただくというのは、このテーマだということで、是非ともこれは意見として入れてほしいということがあれば、そのグループの中でおっしゃっていただいて、記録に残していただくということができるかと思います。</p> <p>第7回は、その答申案を考えないといけないということですけど、まず第6回の次回で、皆さんの意見を出していただいて、どれぐらいまとめられるかということで、第7回でこんなことですよと出したものが、本当に皆さんが納得していただける、そうだよねって言っていただけるようにまとまっているかどうか、ということによっては、もしかしたらどこかでもう1回増えるかもしれないです。それはわからないです。</p> <p>なので、第6回で皆さんから積極的にこれまでの議論を踏まえて意見をいただければ、それだけ第7回は、皆さんのご意見が入ったものに近づくのかなと思います。よろしく願いいたします。</p>
委員	<p>区長として出席させていただいていまして、その中から考えますと、やっぱり適正配置に関しては、地域コミュニティの機能についてですね、答弁をしたいなということがいっぱいあるんですけど、そこが欠落されているからですね、どうしたらいいんだろうと思います。</p>
委員長	<p>仰ってください。</p> <p>その欄外にでも自分で作っていただいて、こういうことですよということを書いてきてください。もし他の委員の方も、何かここしかない、私これは是非言いたっていうのがあればそこに書いてきてください。</p> <p>多分、事務職サイドでは、いくつかに絞らないとと思って絞ってしまったので、そこはいらないって言うわけでは全然ありませんので。</p> <p>ご意見があれば、ここになくてもテーマでこれよっていうのを言っていただいたらと思います。</p> <p>では次回、第6回ちょっと皆さんにお手間をかける進行になりますが、ご準備のほどよろしくお願い申し上げます。</p> <p>では、事務連絡の方は、何かございますか。</p>
教育委員会	<p>事務連絡です。お疲れ様でした。</p> <p>次回9月28日になっておりまして、第7回8回9回、これは第1回の時に資料で</p>

	<p>お渡しはしているのですが、回数が多い感じになっております。ご都合をつけるのは申し訳ないのですけれども、よろしく願いいたします。</p> <p>これまでアナウンス不足だったかもしれないのですが、これまでの検討委員会の資料については、ホームページで第4回まで公開をしています。</p> <p>第1回でお渡しした進学率のところだけは、守秘義務がかかりますということをお伝えしているのですが、それ以外の資料については、ホームページで公開していますので、ほかの方に見せていただいても大丈夫という状況です。</p> <p>ちょっとアナウンス不足だったので、改めてお伝えさせていただきます。</p> <p>あと、傍聴の方には申し訳ないのですが、資料は置いてお帰りいただけたらと思います。</p>
副委員長	<p>一応これで滞りなく、委員会については終了いたしました。</p> <p>どうも各委員の皆様方におかれましては、本当に公私とも何かとご多忙の所、貴重なご意見をたくさん頂戴いたしまして、本当にご苦労さまでございました。</p> <p>お帰り際には、十分交通の面につきまして、気を付けてお帰りください。</p> <p>どうも本日はご苦労様でございました。</p>